

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 17 日現在

機関番号：32606
 研究種目：基盤研究(B) (一般)
 研究期間：2013～2015
 課題番号：25285220
 研究課題名(和文) 学校改革研究のアジア・ネットワークの構築 「学びの共同体」の海外発信と国際連携

 研究課題名(英文) Wiring Asian Network of Research on School Reform - International Proposal of School as Learning Community

 研究代表者
 佐藤 学 (Sato, Manabu)

 学習院大学・文学部・教授

 研究者番号：70135424

 交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,300,000円

研究成果の概要(和文)：本プロジェクト研究は、「学びの共同体」を標榜する学校改革のアジア諸国への海外発信と国際的な共同研究を推進した。「学びの共同体」の学校改革は、研究代表者が約30年前に発案し日本において普及させた学校改革のアプローチであり、一人残らず子どもの学習権を実現し、一人残らず教師の専門家としての成長を促進する学校改革であり、21世紀型の授業と学校を草の根のアプローチで実現する改革運動である。本プロジェクトは、中国、韓国、香港、シンガポール、台湾、インドネシア、ベトナム、タイなどの諸国の教育研究者と協同で、この改革を各国で展開し、その研究交流を行った。

研究成果の概要(英文)：This research project explores the possibilities of school reform from within toward school as learning community. The approach of school as learning community which I designed about 30 years ago, currently expands its wings to most of Asian countries as the most powerful school reform. This research wires the international network for school as learning community through which practices and their research can be exchanged and be promoted to do progress. During the past three years, this project has made enhanced research connections among educational researchers, administrators and teachers of Japan, China, South Korea, Taiwan, Indonesia, Singapore, Hong Kong, Vietnam, Thailand and other nations. As a result, this approach of school as learning community has established a hopeful professional learning community of educational researchers and teachers in Asia.

研究分野：教育学

キーワード：教育学 学校改革 学びの共同体

1. 研究開始当初の背景

東アジアの国々は、長らく日本の近代化をモデルとする「東アジア型の教育」と呼ばれる学校教育の様式を形成してきたが、1990年代以降のグローバリゼーションによって、その有効性に破綻が生じ、過度な受験競争や中央集権的統制から脱却し、分権改革と知識基盤社会に対応した学校改革と授業研究を推進して、新たな学校経営と授業実践の様式を模索してきた。この状況において、本研究の研究代表者が発案し提唱してきた「学びの共同体」を標榜する学校改革は、日本国内のみならず、特に中国、韓国、シンガポール、香港、台湾、インドネシア、ベトナムなどのアジア諸国において歓迎され、これらの国々の学校改革の最大の推進勢力を形成してきた。

これらアジア諸国における「学びの共同体」の学校改革は世界の教育学者に着目され、2003年にはアメリカ教育学会の年次大会において研究代表者が会長招待基調講演を行い、2011年の世界授業研究学会(東京)ではラウンドテーブル、2012年の世界授業研究学会(シンガポール)では企画シンポジウムで議論され、さらに2013年には台湾教育学会が関連学会と連携してアジア諸国の研究者を招聘する「学びの共同体」の国際シンポジウムを企画している。日本国内においては科学研究費・基盤研究(A)2007年度-2009年度「東アジア地域における学校改革研究の拠点形成」(佐藤学:研究代表者、秋田喜代美・恒吉僚子:研究分担者)が、東アジア地域(日本、韓国、中国、香港、シンガポール)における学校改革研究の実態、実践、政策の比較研究を行い、各国の拠点大学、拠点学校との協同研究の国際ネットワークを形成してきた。本研究は、これら各国における「学びの共同体」を標榜する学校改革と授業改革の実践と政策を研究することを課題とした。

2. 研究の目的

本研究は、「学校改革研究のアジア・ネットワークの構築 - 『学びの共同体』の海外発信と国際連携」を主題としている。アジア地域の日本、中国、韓国、台湾、香港、シンガポールの諸国は、国際経済競争を背景として、学校改革と授業改革が最もドラスティックに展開されている地域であり、研究代表者の提唱する「学びの共同体」の学校改革がこれらの国々における学校改革と授業改革の最大の推進力の一つとなっている。本研究プロジェクトは、これらアジア諸国の10年余にわたる「学びの共同体」の学校改革に関する国際的な共同研究の拠点を構築し、併せてこの主題に関する研究と実践の国際交流および若手育成を推進することを企図した。

3. 研究の方法

本研究の基盤はすでに10年以上かけて準備されている。本研究の計画は、ホームページ作成に併行して進められる「学びの共同体アジア・プラットホーム」と「学びの共同体アジア・ネットワーク」の構築(起動プログラム、初年度)、アジア諸国における研究者と実践者を対象とする国際会議とワークショップとの交流による国際連携の推進、日本において開催する国際会議の企画と準備、本研究主題に関与する若手研究者の育成、パイロット・スクールの視察を目的として来日する各国からの研究者、教師、教育行政関係者への対応を推進し、本研究の成果の公表を著書、論文などで行った。

4. 研究成果

平成25年度

平成25年度は、国際連携の基盤としてホームページ International Platform for School as Learning Community (<http://school-1c.com/network/japan/link/>)を作成し、日本、中国、韓国、台湾、シンガポール、インドネシアの学びの共同体の

改革の研究と実践のデータベースを作成した。

2014年3月には、第1回学びの共同体国際会議（The First International Conference for School as Learning Community）を学習院大学において開催した。この国際会議には、11か国から約160名が参加した。参加した国々は、日本、中国、韓国、台湾、インドネシア、シンガポール、ベトナム、香港、マレーシア、イラン、イギリスであった。

この年度の海外における本プロジェクトの主要な研究活動は、以下のとおりである。
5月1日 4日 アメリカ教育学会（AERA）参加・「学びの共同体」国際ネットワークの準備。
8月13日 15日 韓国・慶尚南道・光州市で韓国学びの共同体研究会・全国研究集会・講演「協同的学びによる授業改革」。
8月19日 22日 台湾・台北市・新竹市・講演「学びを中心とする授業改革と学校づくり」「21世紀型の学校とカリキュラム改革」。
9月5日 8日 スウェーデン・イヨテンブルグ、世界授業研究学会（WALS）講演 How Do Teachers Learn to Be Learning Professional?。

9月11日 13日 中国・北京・北京師範大学招待講演「変わる世界の学校 21世紀の授業改革」「協同的学びの理論と実践 学びの共同体へ」「教職の専門職性と行内研修の課題 アクションリサーチによる改革」。
11月10日 13日 台湾・新北市・台南市・精華大学・講演「学びの共同体のヴィジョンと哲学」「協同的学びによる授業の改革」。
3月8日 10日 学習院大学・第1回学びの共同体国際会議・基調報告、Retrospect and Prospect of School as Learning Community in Asia。
3月23日 27日 台湾・台北市・新竹市・淡江大学・講演、「学びの共同体のヴィジョンと哲学」「協同的学びによる授業の改革」。

平成26年度

平成26年度は、2014年11月に第二回学びの共同体国際会議を学習院大学において開催した。この第二回の会議は、少人数の集約的な会議であり、各国の授業実践事例を映像記録（DVD）で持ち寄り、それらの事例研究により研究交流を行う魅力的な三日間の会議となった。参加した国々は、日本、中国、韓国、台湾、インドネシア、ベトナム、イランの7か国であった。

この年度の海外における本プロジェクトの主要な研究活動は、以下のとおりである。
4月1日 3日 中国・山東省・山東師範大学・曲阜師範大学・講演、「学びの共同体そのヴィジョンと哲学と活動システム」

「21世紀型の学校とカリキュラム改革」。
5月2日 6日 台湾・花蓮市・雲林県・高雄市・台中市・台中師範大学・講演「学びの共同体のヴィジョンと哲学と活動システム」「21世紀型の授業改革と学校づくり」「教師教育改革の課題 教える専門家から学びの専門家へ」。
8月13日 15日 韓国・全州市、韓国学びの共同体研究所・全国研究集会・基調講演「学びを中心とする授業の創造」。
9月28日 30日 ベトナム・ハノイ市・ビクソン市・ハノイ教育大学・講演 Learning, School and Society: Foundation of Learning in Reform of School as Learning Community。
10月17日 20日 中国・北京市・北京師範大学・中央教育科学研究所 The Second Teacher Education Summit 2015, Invited Keynote Speech Teacher Research to Be More Professional: Lesson Study in School as Learning Community「学びの共同体の学校改革と授業改革」。
11月24日 27日 インドネシア・バンドン、世界授業研究学会（WALS）基調講演 Becoming Reflective Teacher through Professional Learning in Practice: Progress and

Enhancement of School as Learning Community。12月22日 韓国・清州市・清州教育大学・講演「子どもの学び・教師の学び」。2015年3月 中国・上海市・華東師範大学「学びの共同体の学校改革と授業の創造」。3月22日 台湾・台北教育大学招待講演「学びの共同体の学校改革 ヴィジョンと哲学と活動システム」。

平成27年度

平成27年度は、2015年8月に第三回学びの共同体国際会議を開催した。この国際会議は3年間の本プロジェクトの総括的会議であり、日本の教師700名を含む750名以上が、学びの共同体の学校参観、授業の観察と協議会、基調講演、シンポジウムなどに参加した。参加した国々は、日本、中国、韓国、台湾、香港、インドネシア、シンガポール、ベトナム、マレーシア、タイ、イラン、メキシコ、イギリスの13か国である。

この年度の海外における本プロジェクトの研究活動は、以下のとおりである。

2015年5月 中国・重慶市・重慶教育局・講演「協同的学びによる授業の改革」。

5月15日 中国・北京市・北京師範大学・講演「学びの共同体の学校改革と授業の創造」。6月5日 香港・香港中等学校長会招待講演 The Future of Learning Innovation: Evaluation, Revolution and What is the Nest?。8月12日 韓国・慶尚道・慶尚道教育局・韓国学びの共同体研究所研究集会「協同による質の高い学びの創造」「学びの共同体による学校改革」

8月9、10、11日 学習院大学・第3回学びの共同体国際会議。11月27日 タイ・バンコク・チュラロンコン大学招待講演 Collaborative Learning in School as Learning Community and Its Lesson Study
12月23日 台湾・台北市・新北市・講演「学びの共同体における学力の向上」「協同

的学びによる質の高い学びの創造」

研究期間中、国内において本研究に関連して学びの共同体の公開研究を開催した学校の一覧は以下のとおりである。

富士市元吉原中学校、静岡県川根高校、横須賀市大楠中学校、神奈川県大楠高校、中野市中野平中学校、焼津市小川中学校、名護市東江中学校、松本市鉢盛中学校、熊野市木本中学校、紀宝町井田小学校、松阪市松江中学校、相模原市上溝南中学校、滋賀県彦根西高校、富士市田子浦中学校、広島市祇園東中学校、寝屋川市中木田中学校、茅ヶ崎市浜之郷小学校、杉並区大宮中学校、中津市如水小学校、中津市中津東中学校、鳥取市遷喬小学校、札幌市平岡中央小学校、白河市表郷小学校、天童市第三中学校、須賀川市須賀川第三中学校、木島平村木島平小学校、木島平中学校、岡山市岡南小学校、倉敷市琴浦南小学校、富山市奥田小学校、佐賀市城西中学校、流山市常盤松中学校、大阪市大正中央中学校、西宮市甲東小学校、神戸市福田中学校、新庄市新庄中学校、別府市青山小学校、宇部市常盤中学校、広島県大崎上島中学校、花巻市花巻小学校、和泉市鶴山台北小学校、広島市熾町中学校、広島県安西高校、東大阪市金岡中学校、尾鷲市尾鷲中学校、大阪府勝山高校、奈良市登美ヶ丘中学校、飯島町飯島小学校、茨木市豊川中学校、茨木市郡山小学校、茨木市豊川小学校、前橋市高山小学校、八千代市睦中学校、八千代市阿蘇中学校、伊丹市天神川小学校、川崎市野川小学校、横浜市汐入小学校、まんのう市琴南中学校、東京大学附属中等学校、青森県階上中学校、八王子市宇津木台小学校、神戸市竹の台小学校、沖縄県国頭中学校、沖縄県辺土名小学校、三重県発布中学校、鈴鹿市鼓ヶ浦中学校、下野市国分寺中学校、倉敷市児島小学校、奈良市上牧小学校、長野県穂高小学校、和歌山大学附属小学校、岡山市清

輝小学校、二本松市渋川小学校、佐久市望月小学校、牛久市下根中学校など。

5. 主な発表論文等 (研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計4件)

佐藤学「大学・大学院における教師教育の意義 専門職性と自律性の確立へ」日本教師教育学会『日本教師教育学会年報』第22号 2013年9月 pp.8-15. 査読有

佐藤学「学びの共同体の学校改革 ヴィジョンと哲学と活動システム」日本教育方法学会編『教育方法43 授業研究と行内研修』図書文化 2014年10月 pp.50-61. 査読有。

佐藤学「我的教育研究生涯」(中華人民共和国教育部・北京師範大学編『比較教育研究』Vol.36) 2014年10月 pp.1-6. 査読有。

佐藤学「沈黙に潜む音に耳をすます 音楽教育の可能性」日本音楽教育学会『音楽教育学』第45巻1号 2015年 pp.53-56. 査読有。

〔学会発表〕(計14件)

Manabu Sato, Becoming Reflective Teacher through Professional Learning in Practice: Progress and Enhancement of School as Learning Community, Invited keynote speech at WALIS 2014. Indonesian University of Education, May, 2014.

Manabu Sato, Learning, School and Society: Foundation of Learning in Reform of School as Learning Community, Keynote Speech, Hanoi National University of Education, Vietnam, September 28, 2014.

Manabu Sato, Teacher Research to Be More Professional in Learning: Lesson Study in School as Learning Community. The Second Teacher Education Summit, Beijing Normal

University, October 19, 2014.

Manabu Sato, Retrospect and Prospect of School as Learning Community in Asia. Keynote of the Second International Conference of School as Learning Community. Gakushuin University. March 5, 2015.

佐藤学「学びの共同体の学校改革と授業の創造」(招待講演 于莉莉通訳 北京師範大学 2015年5月12日)

佐藤学「子どもの学び・教師の学び」(孫于正通訳 第5回韓国学びの共同体研究会 基調講演 2014年12月)

佐藤学「協同的学びによる授業改革」(招待講演 于莉莉通訳 中国・重慶市教育局 2015年5月15日)

Manabu Sato, The Future of Learning Innovation: Evolution, Revolution and What is the Next?, Keynote Speech at the 50th Anniversary Conference of Hong Kong Association of the Heads of Secondary Schools. Hong Kong, June 5, 2015.

佐藤学「アートが開く子どもの学び」第58回全国私立保育園大会基調講演 2015年6月19日

Manabu Sato, Three Keystones for Enhancing Quality of Learning in School as Learning Community: Authenticity, Listening Relation and Jumping Task. Keynote Speech at the Third International Conference of School as Learning Community. Gakushuin University, August 8, 2015.

佐藤学「協同による質の高い学びの創造」(孫于正通訳 第6回韓国学びの共同体研究会 基調講演 2015年8月12日)

佐藤学「学力の質を追求する実践的研究」日本教育学会・公開シンポジウム「学力に関する量的研究と質的研究の交流可能性」お茶ノ水女子大学 2015年8月30日

Manabu Sato, School as Learning Community: Vision, philosophies and Activity System,

Invited Speech. Chulalongkorn University.
Thailand. November 28, 2015.

佐藤学「高中的課堂改革」(黄郁倫通訳 台湾・台北市教育局・新北市教育局招待講演 2015年12月)

〔圖書〕(計8件)

佐藤学『学習共同体 構想と実践』(黄郁倫通訳 親子天下雑誌 台湾 2013年6月)86p.

佐藤学『学習革命の最前線』(黄郁倫通訳 天下遠見出版 台湾 2013年10月)351p.

佐藤学『学校見聞録 学習共同体の実践』華東師範大学出版社 中華人民共和国 2014年4月 207p.

佐藤学『学習共同体の願景』(黄郁倫通訳 天下遠見出版 台湾 2014年11月)254p.

佐藤学『静悄悄的革命』李李湄通訳 教育科学出版社 中華人民共和国 2014年11月 154p.

佐藤学『専門家として教師を育てる』岩波書店 2015年3月 209p.

佐藤学『学び合う教室・育ち合う学校』小学館 2015年7月 319p.

佐藤学『教育方法学』于莉莉通訳 教育科学出版社 中華人民共和国 2016年3月 216p.

〔その他〕 ホームページ等

International Platform for School as Learning Community
(<http://school-ic.com/network/japan/link/>)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

佐藤 学 (SATO Manabu)
学習院大学文学部教授

研究者番号：70135424